

岩手県宮古市におけるメディアテークの設計

地域文化力を基軸とした情報中核施設の提案

The Design of Mediatheque in Miyako, Iwate Prefecture

Proposal of core facilities and other information centered on the local culture force

○杉山洋太¹, 佐藤信治²

*Yota Sugiyama¹, Shinji Sato²

Today, the city is towards miniaturization in Japan, there is a need for a more ideal way of urban development with a basis of which the history of the land, terrain, other industries, has been stored in the sustainable development of the city. Envisions a community building the Great East Japan Earthquake 3.11 or later (the earthquake) was centered on disaster prevention aims to inheritance and culture expanding community in reconstruction plan, in Sanriku Northeast has developed a plan to continue to enhance the cultural power region other. However, the foundation of the tradition, restoration of cultural property that was continued is not ready, are measures are required as soon as possible for the lack of facilities, human resources, he is required to be carried over to the future life of the region and the rich natural are. Promoted by the Ministry of the Environment as part of the "plan reconstruction Sanriku National Park", this plan shall be made to the design and planning is one of the features Mediatheque tradition set in Miyako, Iwate Prefecture is the halfway point of the Sanriku coast where logistics and.

1. はじめに

今日、日本全国的に都市は縮小化に向かっており、街の持続発展には土地の歴史、地形、産業等、蓄積してきたものを基とした街づくりのあり方がより求められている。一方東北三陸地方では 3.11 東日本大震災(震災)以降、復興計画においてコミュニティ拡大と文化継承を目指し防災を核とした街づくりを構想、地域文化力を増進していく計画を策定した。しかし、継続した文化財の修復・伝承の体系は整っておらず、その人財・施設不足に対し早急な対策が必要とされており、豊かな自然と地域の暮らしを未来に引き継ぐことが求められている。そこで本計画は環境省の推進する「三陸復興国立公園計画」の一環として、三陸海岸の物流中間地点である岩手県宮古市を舞台に伝承機能の一つであるメディアテークを設計・計画を行うものとする。

2. 計画背景

2.1 復興計画の現状

各市町村は平成 24 年 4 月をもって復興計画の策定を終え、復旧中期である現在、自らが動き出し、街と共に生きていこうという意志が各地で強まりつつある。(図-1)



図-1 宮古市住民アンケート (H23. 7)

2.2 文化財修復の現状

復旧期から再生期に移行するに当たり、街づくりの基軸である文化財の修復は、その行程を踏むための資材・人財共に不足しており、無形文化財についても常時活動していただく場とその体系が整備されていない。そのため、修復事業によって生まれた全国とのネットワーク強化も含め、文化財修復・伝承のフィールドの創出が広く求められている。

2.3 災害と共に生きるかたちの実践に向けて

復興元年の平成 23 年は、生活の場再生に向けて様々な試行錯誤がなされ、その過程・結果が情報ネットで発信されたことで、地域民の街に対する思い、活力が強まり元の場所に住みたいと望む地域が増加、「その街らしさ」を求めるようになった。

再び街創る時、「その街らしさ」を主軸に据えた新しい災害と共に生きるかたちが必要とされている。

計画では災害と共に生きる姿を伝えつつ、物質的資源に乏しいにも関わらず、文化的な遺産の蓄積に恵まれた東北の地域文化力を伝承し、グローバルに発信していく施設を提案する。

3. 敷地選定

3.1 適地選定

当該施設の敷地要件は以下の通りである。

- 1) 環境省の推進するグリーン復興プロジェクトの計画域内であること。
- 2) 三陸海岸の街にあって交通の要処であること。

1:日大理工・院・海建, Graduate school, Dept. of Oceanic Architecture & Eng. College of Science and Technology, Nihon Univ.

2:日大理工・専任講師・海建, Assistant Prof, Dept. of Oceanic Architecture & Eng. College of Science and Technology, Nihon Univ. Dr. Eng.

- 3) 震災時、津波被害を避けたところであること。
 - 4) 豊かな自然を有し、多重防御案を採用していること。
 - 5) 生業産業を有していること。
 - 6) 住民にまちに留まる意志があること。
 - 7) 復興計画において、行政市民間で計画内容の合意形成が済んでいること。
 - 8) 復興過程の情報開示の頻度が高く、市民による主体的活動が著しいこと。
 - 9) 一定の交流人口を有し、今後も増加していく傾向にあること。
 - 10) 公共交通の要である鉄道駅を有していること。
- 以上 1)～10)の項目を満たす適地として、岩手県宮古市宮古駅周辺を計画地に選定する。(図-2)

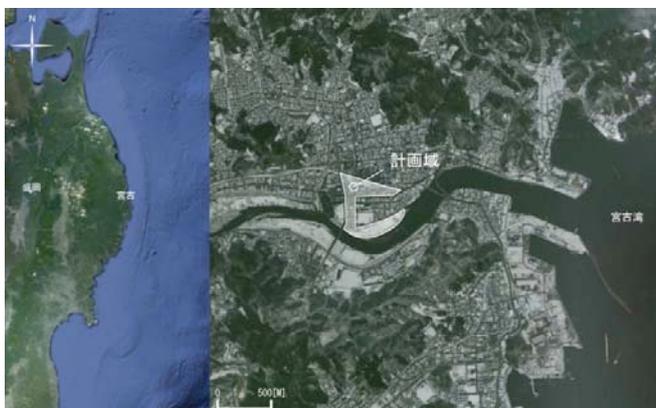


図-2 計画地

3.2 宮古市の現状

宮古市はもとより河岸を有し、物流の中継地点として三陸地域の海と陸を繋ぐ中間地点として機能してきた水産業の町である。災害に弱い土地故に開発は遅れ、全国的に取り残された結果、車移動が手放せない生活形態となった。故にこのまちにとって公共交通、特に三陸鉄道の重要性は高い。

3.3 計画地の現状

計画地は三陸国立公園計画地の中間地点に存在し、宮古市都市計画においても都市公園^{注1)}を有する土地である(図-3)。復旧の要である宮古駅には三陸北リアス

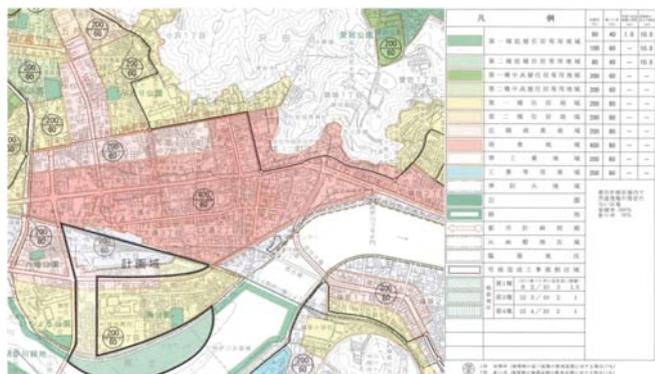


図-3 宮古市都市計画図(H15)

線、JR山田線、JR岩泉線が乗り入れ、路線復旧はほぼ完了している。また南北の三陸リアス線一本化計画や高速鉄道計画が構想段階にあり交流人口拡大に向け準備が進められている。

4. 基本計画

4.1 避難場所・避難所として

当該施設は中心市街地の避難場所(短期避難)、避難所(長期避難)として機能させる。避難路を宮古市内に巡らし、公共交通を復旧機に大きな役割を果たした図書機能と連動させ災害時の情報伝達の中核となるよう多様な情報システムを構築、交流拠点で有るとともに文化施設として伝承の役割を果たす。

4.2 避難形態

5分で避難を原則とし、災害弱者は車移動、垂直移動、学校周辺の集団避難では防災コリドールへスムーズに移動させるために階段、スロープを採用し、その足元に避難場所兼伝承活動場所を創出する。

5. 建築計画

5.1 規模算定

宮古市内における短期・長期避難人口を避難場所、避難所、避難経路から想定し、それに応じ、算出した面積を元に防災コリドールを計画する。

5.1.1 宮古市内

中心市街地人口 5,128 人(①)。避難場所面積：短期 1.65[m²/人]、長期 3.5[m²/人]、(cf:UNHCR(国際難民高等弁護事務所)市町村地域防災計画)計画域内の宮古高校、宮古第一中学校は避難所に指定されておらず高台は中学校側の横山八幡宮のみである。生徒・教員等学校関係者を合計するとおよそ 1500 人(②)となる。

5.1.2 交流人口

宮古市が発表する宮古駅利用者、及び観光客数の平均値の合計から交流人口は 700 人(③)を想定する。

5.1.3 短期避難人口

以上より①～③を合計すると短期避難想定人数は大凡 7,500 人～10,000 人と想定できる。よって短期避難面積は最大で 165,000[m²]と決める。

6. 参考文献・注釈

[1]「震災後の環境学を考える」, 建築学会, 建築雑誌 7 月号 P32～P35, 2011

[2]「浜から始める復興計画」, アーキエイド編, 彰国社, 2012

[3]「グリーン復興プロジェクト」, 環境省, 2012

[4]「東日本大震災と図書館」, 国会図書館, 国会図書館デジタル化資料, 2012

[注 1]優れた文化的資産の保存及び活用を図るため閣議の決定を経て認定する都市計画施設である公園